

科目名	地域子育て支援 I			担当	千葉 直紀・関 裕子・ 多田 幸子・川島 良雄			
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年前期	実務経験	保育所勤務経験あり（千葉・関）	
必修	保育士：選択必修		レク：選択必修		ナバリング	Y3203	DPとの関連	4
授業概要	周産期から学童期までの切れ目のない子育て支援に必要な環境について学び、必要なネットワークと現代社会に求められる子育て支援の在り方を多角的に追求する。また、これまで蓄積してきた知識や実習等で得た実践知を基に、地域における子育て支援活動に求められる保育者としての職員の専門性について総合的に理解する。							
到達目標 学習成果	1. 地域の子育て支援活動の現状について理解し、自らも参加することで様々な子育て支援の形態について学ぶ 2. 地域子育て支援のネットワークや領域について理解し、地域の中で連携して行われている子育て支援の実状から、求められる専門性について理解する							
授業計画	回	内容						
	1	ガイダンス	地域子育て支援の概要について学ぶ					
	2	地域子育ての実状	地域のコミュニティや子育て支援のネットワークについて学ぶ					
	3	地域子育ての領域的支援①	地域の子育て支援が各領域でどのように実行されているかを学ぶ① 保育の視点から					
	4	地域子育ての領域的支援②	地域の子育て支援が各領域でどのように実行されているかを学ぶ② 心理学の視点から					
	5	地域子育ての領域的支援③	地域の子育て支援が各領域でどのように実行されているかを学ぶ③ 社会福祉の視点から					
	6	地域子育ての領域的支援④	地域の子育て支援が各領域でどのように実行されているかを学ぶ④ 行政や制度的視点から					
	7	見学準備	概論と現場の実情を踏まえ、学びたいことを焦点化する					
	8	地域と子ども①	子育て支援センターの現場における現状と課題					
	9	地域と子ども②	周産期から学童期の子どもの育ちを支える行政における支援の現状と課題					
	10	地域と子ども③	地域における子育て支援の環境と様々な支援の形態					
	11	子育て支援センター見学	地域子育て支援の実際と保護者との関わりについて学ぶ					
	12	振り返り	子育て支援センターの見学をグループ内で対話的に振り返る					
	13	報告	子育て支援センターの見学からグループごとに報告を行う					
	14	子育てと地域	子育て支援の実状と理論を結ぶ					
15	まとめ	地域の子育てを支える専門性について学ぶ						
評価基準	1. 地域の子育て支援活動の現状について理解し、様々な子育て支援の形態について説明できる 2. 地域子育て支援のネットワークや領域について理解し、地域の中で連携して行われている子育て支援の実状や求められる職員の専門性について説明できる							
評価方法	・レポート 40% ・その他 60%							
フィードバック 方法	子育て支援センターでの学びの可視化と講評							
アクティブ ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション、子育て支援センターでの見学実習							
教科書	特になし							
参考書	必要に応じて資料を配布する							
履修条件	・積極的に学外学習に参加し、子どもや保護者とコミュニケーションを取る機会を作る ・学外授業を含むため、交通費の自己負担が発生する可能性がある							
授業外学習	事前学習：周産期～学童期を見据えた子ども家庭支援と地域とのつながりについて社会の実情を把握する（各回 30分） 事後学習：企画への準備や振り返りのための作業等（各回 1時間）							
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること							